

1 [日] 加藤敬二×AMSアマミュージカルスタジオ
ミュージカルコンサート『Jewel Box』～未来への扉～◎PLAT主ホール

1 [日] お店をつくらう!小さなまちづくりプロジェクト
◎PLATアールスペース

7 [土] 0歳からの・はじめてのオーケストラ◎PLATアールスペース

8 [日] アコースティックライブ 2024 Back Home
◎PLATアールスペース

14 [土]・16 [月・祝]

ぶらっと文化祭「Art Platter」Vol.2

14 [土] 平田満 映画&トーク『このころの通訳者たち』上映&トーク

◎PLATアールスペース

15 [日] 蟹江杏・参加型ライブペインティング

「あんずといっしょに大きな絵を描こう!」

◎PLATアールスペース

15 [日] 山田晋平 映像創作

ワークショップ

「スマホでつくり、スマホを展示する」

◎PLAT主ホール

16 [月・祝] とまり木の演奏会

ランチタイムコンサート

◎PLATアールスペース

16 [月・祝] 室井滋トーク&朗読LIVE

「しげちゃんのおなはし会」

◎PLAT主ホール

21 [土]・22 [日・祝]

東三河演劇祭 15周年

リーディングとマリンバ、

ギターによる

『ハイネさん S.99

～豊川海軍工廠をめぐる物語～』

◎PLATアールスペース

22 [日・祝]・23 [月・休]

日本文学シアター Vol.7

『夫婦パラダイス～街の灯はそこに～』

◎PLAT主ホール

28 [土]

井垣社太×赤峰幸生 コンサート&トーク

ーピアノと服づくりの源にあるものー

◎PLATアールスペース

2 [水] 大津美子 歌手生活70周年記念コンサート◎PLAT主ホール

6 [日] 劇団四季ファミリーミュージカル『ガンバの大冒険』◎PLAT主ホール

14 [月・祝] 峯島望美ソプラノリサイタル◎PLATアールスペース

26 [土] オペラシアターこんにゃく座 オペラ『あん』◎PLAT主ホール



PLAT
NEWS



TOYOHASHI ARTS THEATRE

PLAT

表紙/瀧内公美『夫婦パラダイス～街の灯はそこに～』

裏表紙/「目玉焼きパーティー」絵:ANZ Kanie『ぶらっと文化祭「Art Platter」Vol.2』

企画・発行/公益財団法人豊橋文化振興財団

編集・デザイン/味岡伸太郎+有限公司STAFF

令和6年8月発行69号[隔月発行]

PLAT
NEWS

プラットニュース



CONTENTS

目次

1
目次
インタビュー表紙の顔

2
INTERVIEW:1
ぷらっと文化祭「Art Platter」Vol.2
アートのごちそう、召しあがれ!
桑原裕子

5
INTERVIEW:2
井垣壮太 × 赤峰幸生コンサート&トーク
音楽を主軸としながら、枠を超えた活動をしていきたい。
井垣壮太
クラシックは基本であり、「美しい」。
赤峰幸生

7
INTERVIEW:3
『夫婦パラダイス～街の灯はそこに～』
北村想さんが紡がれる台詞が好きで、それを届けられるのが楽しみです。
瀧内公美

9
INFORMATION
PLAT主催公演情報

13
COLUMN
オペラ あん
「新たな命の誕生」
ドリアン助川

14
SPONSOR
SUPPORT
TICKET CENTER

INTERVIEW

インタビュー



桑原裕子 [くわばら・ゆうこ]
東京都出身。劇作家・演出家・俳優。KAKUTA 主宰。穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術監督(23年4月芸術文化アドバイザーから名称変更)。ワークショップや「ぷらっと文化祭 Art Platter」市民と創造する演劇などを手がける。俳優業のほかに、テレビ、ラジオ、映画の脚本、舞台への作・演出など、多方面で活動。09年 KAKUTA『甘い丘』第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞(脚本・演出)受賞。16年 KAKUTA『痕跡』第18回鶴屋南北戯曲賞受賞。18年穂の国とよはし芸術劇場 PLAT プロデュース『荒れ野』第5回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞受賞、読売文学賞戯曲シナリオ部門受賞。19年に劇団作品『ひとよ』が白石和彌監督で映画化。映像脚本にNHK「ぬけまいる」、昭和歌謡ミュージカル「また逢う日まで」など。その他近年の主な舞台に『シブヤデアイマショー』(出演)『ロビー・ヒーロー』(出演)『サンセットメン』(脚本・演出)『閃光ばなし』(出演)『少女都市からの呼び声』(出演)『たわごと』(脚本・演出)『ナビレラ～それでも蝶は舞う』(上演台本・日本語歌詞・演出)など。



井垣壮太 [いがき・そうた]
1987年豊橋市生まれ。東京芸術大学器楽科ピアノ専攻卒業。これまでにピアノを近田佐映、長谷川淳、迫昭嘉、ローラン・テシユネ、ピアノ・デュオを藤井隆史、ソルフェージュを三浦健一、音楽理論を平野貴俊の各氏に師事。
赤峰幸生 [あかみね・ゆきお]
1944年東京都目黒区生まれ。桑沢デザイン研究所を卒業後、独自のクラシックスタイルによる数々のブランドの企画、デザインを手掛ける。1990年、株式会社インコントロを広尾にて設立。2014年、企画の視点を“人と自然の共生”に広げるため、会社を神奈川県川崎市の自然に囲まれた立地に移転。社屋を「めだか荘」と命名し、企画の創造と発信、体感の場として活用。近年は雑誌連載のほか YouTube や SNS でもクラシックな衣食住の文化を次世代に伝えている。

COVER

表紙の顔



瀧内公美 [たきうち・くみ]
1989年10月21日生まれ。富山県出身。2012年から女優活動を開始、映画『グレートフル・デッド』(14年)で初主演。『日本でいちばん悪い奴ら』(15年)で注目され、『彼女の人生は間違いじゃない』(17年)に主演。『火口のふたり』(19年)でキネマ旬報主演女優賞、ヨコハマ映画祭最優秀新人賞受賞。『由宇子の天秤』(21年)、ドラマ『大豆田とわ子と3人の元夫』(21年、カンテレ)など話題作に出演。現在は大河ドラマ『光る君へ』(NHK)に出演中。舞台『夫婦パラダイス～街の灯はそこに～』(9月6日～19日・紀伊国屋ホール、9月22日～23日・穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール、9月26日～27日・森ノ宮ビロティホール)に出演予定。



蟹江杏 [かにえ・あんず] (画家)
東京都出身。「NPO 法人 3.11 こども文庫」理事長。「自由の森学園」卒業。ロンドンで版画を学ぶ。美術館、全国の百貨店や画廊で個展を開催。絵本やエッセイの出版、壁画制作、こどもアートプログラムのプロデュースなど活動は多岐にわたる。文部科学省復興教育支援事業のコーディネーターをつとめるなど、イベントやワークショップを通し全国の子どもたちとアートをつなぐ活動を行なっている。2023年、絵本「ハナはへびがすき」(福音館書店)が「第14回ようちえん絵本大賞」を受賞。

INTERVIEW

インタビュー



Platter(大皿)に盛り合わせた、朗読、美術、音楽、映画 etc...から、あなたの好きを召しあがれ!
芸術を多彩な角度から楽しめるぷらっと文化祭「Art Platter」。さまざまな作り手たちと、盛りたくさんの三日間をお贈りします。

ぷらっと文化祭
アートプラッター
Vol.2



あんとつしよに大きな絵を描こう!

アートのごちそう、召しあがれ!
総合企画 桑原裕子 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術監督
聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化プロデューサー

“プラッター”とは、いろんな料理をいっぺんに乗せられる大きなお皿のことです。
好きなものをお腹いっぱいになるまで食べてもいいし、興味を惹かれるものをあれこれつまんでもいい。ひとつだけと欲していたけど、やっぱりこっちは…ムム、美味しい!そんな風に見つける喜び、試せる愉しさ、選べる面白さ。それが『ぷらっと文化祭—アートプラッター—』です。PLATという大皿に、美術、音楽、演劇、映像、朗読……素敵な面白いごちそうを、どっさり乗せてお待ちしています。美味しいものに出逢うと、作りかたも知りたくなりますよね。そんなときは是非、ライブペインティングやワークショップに参加してください。
きっと、あなただけのごちそうができるはずですよ。



矢作——今回で2回目の文化祭ですが、桑原さんの想いをお聞かせいただけますか。
桑原——私の場合、普段は劇場に行くのと演劇を観ることがほとんどですが、会場では、アートや音楽、いろんなワークショップ、演劇以外にもいろいろ催されています。演劇を観に行つたつもりが、飾られてる絵画に興味を持つたり、逆に絵を観に行つたはずが、やっていたドキュメンタリー映画が面白かったり、そうやって大皿(Platter)のいろんな料理をつまみ食いできるような文化祭をやりたいなと思っていました。
矢作——今回のメインとも言える、「しげちゃんのおはなし会」ですが、室井滋さんをお呼びしてどういったことをやりたいと考えているのでしょうか。
桑原——もともと室井さんの大ファンで、もちろん俳優としても大好きなのですが、エッセイも若い頃からずっと読んでいたんです。一昨年、私の作演する舞台に出ただけ、室井さんの魅力は計り知れないと、改めて思いました。室井さんは人生のものがすごく面白いんです。
俳優から派生して演歌歌手をやったりもしますし、エッセイがベストセラーになり、さらに絵本作家としても活躍され、今年、文学館の館長さんに就任されました。『電波少年』でいろんな海外遠征に行ったり、懸賞生活したりと、むちゃな冒険もいっぱいやってますが、その全てを面白がって経験している。マージャンやクルーズといった遊びもいっぱいですが、本当に多彩ですが、それは一般人の私たちに手の届かない

INTERVIEW

ぷらっと文化祭 vol.2

オープニング式典&演奏会

9月14日[土]10:30
会場=交流スクエア
演奏= Trio Esters [フルート三重奏] 井澤莉子、岡田薫子、満吉香苗
料金=無料・申込不要

平田満 映画&トーク 映画「こころの通訳者たち」上映&トーク

9月14日[土]14:00開演
会場=アートスペース
出演=[トーク]平田満、平塚千穂子(シネマ・チュブキ・タバタ代表)
映画「こころの通訳者たち」の上映と、平田満と本作品のプロデューサーの平塚千穂子とのトークイベント(手話通訳付き)。

とまり木の読み聞かせ

9月14日[土]11:30、17:00
会場=研修室(大)
出演=平田満、井上加奈子
子どもからおとなまで楽しめる素話や絵本の読み聞かせの時間です。

とまり木の演奏会

ブラットワンコインコンサートに出演した演奏家を中心に
お贈りする、どなたでもゆったりと楽しめる40分の演奏会。
料金=無料・申込不要

●夕暮れの演奏会

9月14日[土]
18:00~18:40
会場=交流スクエア
出演=Trio Esters [フルート三重奏] 井澤莉子、岡田薫子、満吉香苗

●ランチャタイムコンサート

9月16日[月・祝]
12:30~13:10
会場=アートスペース
出演=成田萌[ヴァイオリン]、神谷英里佳[ハープ]

ような才能ではなく、室井さんの好奇心や冒険心が世界を広げているところに魅力を感じたんです。

文化祭では、来場された方が様々な芸術に触れ、自分の好きなことや面白いこと、挑戦したいものを発見してもらえたらと考えています。室井さんの、エッセーや絵本の読み聞かせやトークを通じ、面白いことを見つけるヒントを頂けたらと思います、お迎えしました。矢作——室井さんにはお話しや朗読していただくと同時に、音楽の要素も加えてとお伺いしていますが、桑原——室井さんが絵本やエッセーの朗読をしていた中で、アルケミストというグループのピアニスト、井尻慶太さんにピアノを弾いていただきます。物語と親和性のある美しい音楽を演奏してくださると思っています。井尻さんのミニ演奏会も是非楽しんでいただきたいです。

矢作——「とまり木の朗読会」と「とまり木の読み聞かせ」ではどういったことをなさるのでしょうか。

桑原——PLATには、主ホールやアートスペースの他、研修室や創造活動室など、いろんな場所があります。文化祭なので、例えば学校で廊下を歩いていたら何か催しがやっているところに遭遇するような感覚で、と

まり木のように立ち寄って芸術に触れてもらいたいと思いました。それで「とまり木シリーズ」と名付けました。PLATのワンコインコンサートに参加されている演奏者の皆さんによる「とまり木の演奏会」。舞台『荒野』に出演していただいた井上加奈子さんによる、本を持たずにお話を語り聞かせる素話や絵本の読み聞かせをしていただく「とまり木の読み聞かせ」。『市民と創造する演劇』などに出演していただいている市民の皆さんとは、小説を語り部と演じ手に分かれて演じるように見せながら小説の物語を朗読する、「とまり木の朗読会」を会場のさまざまな場所で上演します。

朗読会では四つのテイストの違うお話をいろんな会場で見せ方も変えながら上演します。劇場のように黒い空間を作ってお芝居らしくやるところもあれば、絵画に囲まれたアトリエのような空間で楽しんでいただいたり、あるいは廊下に近いホワイエという開放的な空間で不意に始まる物語もあったりで、1日中朗読を観て楽しんだり、その間に演奏会も観に行くこともできます。

矢作——今回参加されるアーティストの蟹江杏さんの魅力はどういったところで、彼女にはどんなことをして



いただくのでしょうか。桑原——蟹江さんの絵を拝見したとき、ファンタジックで深い情感があり、それでいてどことなくユーモラスな絵に一目惚れしたんです。文化祭にぴったりだと思ったのは、豊かな創造性が広がる蟹江さんの絵をご覧になった皆さんに、ワクワクするような遊び心を感じていただけるのではと考えたからです。

会場全体に蟹江杏さんの手掛けられた絵画やアートを展示すると同時に、お子さんが参加できるライブペインティングを行います。蟹江さんと一緒に一枚の大きな絵を作るんです。3グループに分かれて一つの絵を好きに描いて、それを最後に蟹江さんが一つのテーマのある大きな絵にまとめ上げる。完成した絵画は、劇場にしばらく飾りたいと思っています。矢作——平田満さんに期待するところをお伺いできますか。

桑原——平田さんは、舞台俳優としても映像俳優としても数々の素晴らしい作品に携わってきました。その平田さんの目線でどう映画を見るのか聞いてみたいと思ってたんです。本当は平田満映画祭をやりたいぐらいの気持ちなのですが、今回は一本に絞りました

た。平田さんの選出したドキュメンタリー『こころの通訳者たち』を上演し、プロデューサーの平塚千穂子さんをお迎えしてお話を伺います。平田さんは井上加奈子さんの読み聞かせにも参加されるようで、とまり木のように立ち止まってみたら平田さんが演劇をしている瞬間に立ち会えるかと思います。矢作——文化祭での桑原さんの役割と、ご出演は。桑原——今回の私の役割は、総合企画プラス、とまり木の朗読会で演出させていただきます。「しげちゃんのおはなし会」の時には、私の好きな気持ちを爆発させながら、室井さんに公開インタビューをする予定です。劇場をウロウロしてる桑原にも気軽に声がけいただけたら幸いです。矢作——非常に多彩な用意をされているということでも楽しみですね。桑原——PLATにはカフェスペースもありますが、そこでご飯を食べながら演奏会を聞いていただく、すてきな催しもあります。1日中楽しんでいただける三日間にしたいと思っています。矢作——9月の三日間、とても楽しみにしてお待ちしたいと思います。よろしく願いいたします。

蟹江杏・参加型ライブペインティング「あんずといっしょに大きな絵を描こう！」

9月15日[日]
10:30、13:00、15:00
会場=アートスペース
講師=蟹江杏 [画家]
蟹江杏さんと一緒に縦3メートル・幅10メートルの大きな絵を描く参加型のライブペインティング。完成した作品は翌日に展示公開。

映像創作ワークショップ「スマホでつくり、スマホを展示する」

9月15日[日]13:30
会場=主ホール
講師=山田晋平 [舞台映像作家]
スマートフォンを使って、一人一作品、短い映像作品を製作するワークショップ。

とまり木の朗読会

9月15日[日]~
9月16日[月・祝]
会場=創造活動室B、研修室(小)ほか
構成・演出=桑原裕子
出演=ブラット朗読隊 / 酒井晴江、成清正紀
俳優が実際に動き、演じる。「かぎりなく演劇に近い朗読」として短編小説から書き起こされた5作品を、劇場周辺に暮らす市民とともに4つの会場に分かれて上演します。

室井滋 トーク&朗読LIVE「しげちゃんのおはなし会」

9月16日[月・祝]
15:30開演
会場=主ホール
出演=室井滋、井尻慶太 [ピアノ]、桑原裕子 [司会]
俳優、エッセイスト、絵本作家として豊かな才能をみせる室井滋によるトークショーと、朗読や絵本の読み聞かせを生演奏に乗せてお贈りします。音楽にはアルケミストのピアノ・井尻慶太が出演します。

蟹江杏 作品展

9月14日[土]~
9月16日[月・祝]
会場=交流スクエア、研修室(大)、アートスペース2階ホワイエ

井垣壮太×赤峰幸生 コンサート&トーク

ピアノと服づくりの源にあるもの

9月28日[土]14:00開演

ピアノ=井垣壮太

トーク=井垣壮太、赤峰幸生

会場=PLATアールスペース

クラシックは
基本であり、「美しい」。
赤峰幸生

トーク

音楽を主軸としながら、
枠を超えた活動をしていきたい。
井垣壮太

ピアノ・トーク

聞き手 高田装子 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 事業制作部

高田— 井垣さんがご自身の舞台衣裳を赤峰さんに依頼されたのがお二人の最初の出会いと伺っています。赤峰— はい、ピアニストの舞台衣裳を作るのは初めてでしたが、井垣さんを見た瞬間、どういうデザインの服がピッタリかすぐに分かりました。

井垣— 直感的にデザインしていただき、早々に画を送っていただきました。

高田— 赤峰さんはクラシックなどの音楽はお好きなのですか。

赤峰— 好きですね。子どもの頃、私の家に下宿をしていたバレリーナの方がいて、休みの日になるとクラシックの曲が家で流れていました。また、兄も昔からクラシックが好きで、ドヴォルザークの『新世界より』とかをよく一緒に聴いていました。

高田— 井垣さんは、ファッションに興味はあったのですか。

井垣— 古着屋に行くのは昔から好きでしたが、赤峰さんに会って、装いの世界の奥深さを知り、とても衝撃でした。

高田— 異なる分野のお二人によるコンサート&トークは珍しいですが、一緒にやりたいと思った理由をお聞かせください。

井垣— 元々、他のジャンルと音楽を掛け合わせてイベントをつくるのに興味がありました。赤峰さんとお話していて、共通の価値観があると感じ、お互いの世界観や価値観がうまくみ合った面白い公演ができるのではないかと思います。

高田— 共通の価値観とは、具体的にどんなことでしょうか。

井垣— 赤峰さんは洋服に「自然」を取り入れ、季節や、その日見た花に合わせてスタイリングを組んでいられる。「自然」は、僕もピアノを弾く上で、着想を得る一つの大切な場所です。また、赤峰さんは講演活動やレストランのプロデュースと、幅広く活動されています。僕も音楽を主軸としながら、分野を超えた活動もしたいという思いがあり、そういう点で考え方が似ているかなと。

高田— お二人とも、クラシックを大切にしつつ、常に新しいことにチャレンジされていますね。

赤峰— クラシックとは、歴史が培った文化であり、人々の営みの中で洗練されてきた基本であり形式です。それは生きることの基本でもあります。井垣さんの場合は何百回と愚直にバッハから基本を学んでいく。彼は、やればやるほど奥が深いとおっしゃっていた。その通りだと思います。私の場合は、1900年代初期の洋服スタイルから学んでいますが、クラシックを受け入れつつ、それを今という時代においてどのように咀嚼し、いかに自分の形として表現するか、ということを中心に考えています。そしてクラシックに共通しているのは、「美しい」ということ。モード、トレンド、ブランドで物の価値は決まりません。美しいものには、手間暇がかかっている。また、今の時代は情報やデジタルを

基軸に進化していますが、土地ごとのしきたりや作法等も含め、文化というものがある程度留まって継承されていく必要があります。井垣さんとういう話をしても、お互いブレがありません。

高田— 今回の演奏曲について少し教えてください。井垣— 赤峰さんは映画から洋服のことを学ばれて着想を得ているということもあり、二人の橋渡しとなる存在として、映画音楽をいくつか選びました。また、赤峰さんは西洋の装いに和の精神を入れる「和魂洋装」をテーマに活動されています。それと同じようなことを僕も音楽で常々思っていたということもあり、日本の歌曲である『浜辺の歌』を自分で編曲を加えて演奏する予定です。

高田— 赤峰さんは映画からどのように影響を受けていらっしゃるのですか。

赤峰— この仕事をしていなければ、目指したかったのは映画監督です。特に1940～50年代ぐらいのイタリア映画にはすごく惚れ込みました。そして西洋のいろんな映画監督を見ますと、着ている服がとても格好良い。また、黒澤明や小津安二郎の映画には、古き良き日本人の心というのがあり、それらすべてが自分の中でミックスしていて、それが私の服における表現につながっています。

井垣— 今回は、赤峰さんの洋服も展示し、実際に触っていただけます。聴覚、視覚、触覚と、五感をたくさん使って楽しんでいただくことが本公演のコンセプトになっています。

赤峰— 五感をフルに使うことが暮らすことの楽しさにつながります。当日は衣食住など生活に関する話も話したいと思いますが、皆さんがより良く暮らすことに対するきっかけになれば非常に嬉しいです。アフタートークでも皆さんと気さくにお話したいと思っています。高田— クラシックや文化というと、敷居が高いイメージもありますが、お二人ともそれぞれ身近な感覚で接し、捉えていらっしゃるのが印象的です。音楽や服飾など、文化というのは日常の延長で楽しめるもの、ということでしょうか。

井垣— その通りです。イタリア語で「食べる」を意味する「マンジャーレ」という言葉は、皆で楽しく食べるという意味が込められていて、そういう味わいのする洋服を創りたいと赤峰さんが著書で書かれていました。僕も同様で、バッハは「音楽の父」と言われて堅いイメージがあるし、現代音楽も一般の人からしたら近寄りたいたいものですが、皆で和気あいあいと食べるというような感覚でこれらの曲を演奏していますし、そんな感じで聴いてもらいたい。以前ネパールから帰って、1ヶ月ぐらいおなかを壊し続けて全然食べられず、母から出汁の染みた高野豆腐をもらったことがあります。食べる人のことを思った料理のように、作り手の温かい気持ちが伝わる。そういうピアノが弾きたいとずっと思ってきました。そのような思いが伝わる公演にしたいです。高田— とても楽しみです。ありがとうございます。

『夫婦パラダイス～街の灯はそこに～』

9月22日[日・祝]15:00開演、23日[月・休]14:00開演

作＝北村想

演出＝寺十吾

出演＝尾上松也、瀧内公美、鈴木浩介、
段田安則、高田聖子、福地桃子

会場＝PLAT主ホール



聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場ROCKY 芸術文化プロデューサー

北村想さんが紡がれる台詞が好きで、それを届けられるのが楽しみです。瀧内公美

出演

矢作—— 2022年の『奇蹟 miracle one-way ticket』で北村想さんと寺十吾さんの作品にご出演されて印象に残っていること、また、今回そのシリーズの2作目への期待感をお伺いできますか。

瀧内—— 前作で私は秋田の修道女の役をやらせていただきました。想さんの言葉は読んでいて難しい部分もあるのですが、生きることに對して、悩んだり、これからどうしていいかと思う中で読んでいて、すごく軽やかでやさしい想いが伝わってくるのが好きでした。

寺十さんは役者さんでもありますので自分たち演者に寄り添った演出をさせていただきます。人前で何かをやるのはさらけ出すことなので、ある種、恥ずかしいですし、間違っているのではないかと不安感が大きくなったりすることもあるんです。でもそうさせないように「僕だったらこうやってみたり」とか、「こういうキャラクターでやってみたらどうだろうか」という提案もいただきます。やってみた中で「ここはこうやってもらいたいな」と、明確におっしゃってくださる優しい演出家だと思います。

矢作—— 今回、関西弁で、少し癖のある言葉で書かれています。読んだ感想をお願いします。

瀧内—— 「ザッツ関西弁で言っただけ」と言われているのだなという感じで、時代は今と書いてありますが、本当に今かなと思うような不思議さが、劇ならではのなと思います。

これまで風呂敷を広げて、どう終わるのかと思いましたが、「あーなるほど、そういう終わり方ですか!」と、その軽やかさに想さんらしさを感じましたね。劇場の空間の中で想さん特有の時空を超えていく感じがこの作風と相まっておもしろくご覧になっていただけたのではないかなと思います。

矢作—— メインモチーフの『夫婦善哉』は読まれたか。

瀧内—— 10年ほど前、尾野真千子さんと森山未來さんがやっていたNHKのドラマで『夫婦善哉』に出会いました。台本をいただき、ところどころエッセンスとして夫婦善哉が抜かれていますので。雰囲気は大事にしながらも想さんの『夫婦パラダイス』であるという感じでした。

矢作—— 『夫婦善哉』では、柳吉は本当にどうしようもない男で。蝶子はしっかり者です。今回の作品では柳吉はすごく頭がいい。その辺がすごく違います。蝶子をどう演じようと思っただけですか。

瀧内—— 今回の蝶子さんはすごくシンプルな人だと思います。自分の生き方はこれなんだというのが明確にある人。柳吉さんは難しいことも分るし、自分一人で行動できる強さもある。最初チャキチャキな方がいいのかなと思ったが、説教するほどでもないタイプです。「どないしたんや」みたいな感じでもない。ふ

ざけている時はちゃんと叱咤しますし関西の、柔らかいところもありつつ、ピシッと言うところは言うという、粋な蝶子を演じたいですね。

矢作—— 相手方の尾上松也さんの印象などをお伺いできますか。

瀧内—— 一言で言うと、歌舞伎から現代劇まで途切れることなく舞台の上に立たれている方。恐ろしいですね(笑)。歌舞伎版『ルパン三世』で、松也さんは水が流れている中をはだしてよじ登っていたのです。「どうなっているんですか、その体幹」という衝撃で。お客様を魅了し続ける本物の役者さんだと思っています。

矢作—— 今回も浄瑠璃バンクロックがテーマになっています。音楽的にはどういうイメージを抱かれていますか。

瀧内—— まだイメージがついてなくて、どうなっていくんでしょうか。そのあたりはお稽古に入るとても楽しみにしているところです。バンクロックの精神は社会への反抗なので、そういうところは脚本を読んで「なるほど、だからバンクなんだな」と思いました。

想さんはその人が得意なところを書き入れてくれる方です。『奇蹟』の時も、井上芳雄さんが歌を歌われていました。そして、寺十さんは井上小百合さんがサクソスが得意ということでサクソスを取り入れてくださった。わたしに関しては「本当に何もできないんです」と言い続けようかなと言いつつ、最後どういう形に仕上がるか、楽しみだなと思っています。

矢作—— 瀧内さんにとって映像とは異なる、舞台における楽しみ方はありますか。

瀧内—— 普通の声で話しても聞かえないので、必然的に声も張ります。エネルギー値がどんどん高まって、劇場に入ればお客さまに届けたい気持ちが多くなります。舞台上立つと自分の肉体が変わっていくのでその辺は面白いですね。あと、よく皆さん、お客さんと作っていくとおっしゃいますが、その日その日の反応が違うのはおもしろいと感じます。

矢作—— 最後に、豊橋の街の印象と、豊橋のお客さんに対してメッセージをいただけますか。

瀧内—— 豊橋に出向いた回数がそんなにないのですが、劇場の前がロータリーみたいになっていますよね。すごく穏やかで階段にぼおっと座っていると、ゆったりした空気が流れていて素敵な街だなと思いました。

矢作—— ありがとうございます。豊橋でお待ちしています。

加藤訓子 プロデュース
「メタクセナキス」
 8/24 [土] 14:00開演

好評発売中
 マイセレクト 2024 4

20世紀の偉大な作曲家クセナキスの楽曲を加藤訓子プロデュースにより打楽器と能舞で贈ります。
 出演＝加藤訓子(パーカッション)、中野宜夫(能舞)、IX percussion a(篠崎陽子、濱中陽香 ほか)
 演奏予定曲目＝『ルボンa.b.』『ブサッパ』『ブレイアデス』
 会場＝PLAT主ホール
 料金＝[全席指定]一般5,000円 ほか
 【特別協賛】サーラグループ



井垣壮太×赤峰幸生 好評発売中
コンサート&トーク
 ーピアノと服づくりの源にあるものー

9/28 [土] 14:00開演

出演＝井垣壮太(ピアノ・トーク)、赤峰幸生(トーク)
 演奏予定曲目＝ショパン:舟歌Op.60、バッハ:平均律クラヴィーア曲集より数曲、主人の望みの喜びよ ほか
 会場＝PLATアートスペース
 料金＝[全席自由・整理番号付]一般3,000円、U25 1,500円、高校生以下1,000円



劇団四季ファミリーミュージカル
『ガンバの大冒険』 予定枚数終了
 10/6 [日] 16:00開演

原作:斎藤孝夫「冒険者たちガンバと15ひきの仲間」(岩波書店刊)
 作曲:いずみたく
 初演オリジナル構成・演出:浅利慶太
 会場＝PLAT主ホール
 料金＝[全席指定]S席大人6,000円、S席小学生以下4,000円、A席大人4,000円、A席小学生以下3,000円

日本文学シアター Vol.7
『夫婦パラダイス ～街の灯はそこに～』
 9/22 [日・祝] 15:00開演
 9/23 [月・休] 14:00開演

好評発売中
 9月23日のみ

尾上松也 瀧内公美

日本文学へのリスペクトから新たな劇世界を創出する「日本文学シアター」シリーズ。その第7弾は、織田作之助の名作「夫婦善哉」をモチーフにしたオリジナル戯曲!
 作＝北村想
 演出＝寺十吾
 出演＝尾上松也、瀧内公美、鈴木浩介、福地桃子、高田聖子、段田安則
 会場＝PLAT主ホール
 料金＝[全席指定] S席 8,000円、A席 6,000円 ほか
 ※18歳以下のお子様無料と招待対象公演。先着40名。プラットチケットセンター(オンライン)にて取扱。



高校生と創る演劇
『Journey Over the Rainbow ードロシーとワタシーー』
 11月2日のみ

2017年の高校生と創る演劇「ガンボ!」でステージングを務めた下司尚実を迎え、東三河を中心とした高校生とプロのスタッフがともに新作を創作します。
 会員先行＝8月31日(土)
 一般発売＝9月7日(土)
 作・演出・振付＝下司尚実
 出演＝オーディションで選ばれた高校生
 会場＝PLATアートスペース
 料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付]一般2,000円、高校生以下500円 ほか



高校生と創る演劇2023年『101年目の夏休み』 撮影:伊藤華織

ぷらっと文化祭「Art Platter」Vol.2
Platter(大皿)に盛り合わせた朗読、美術、音楽、映画 etc...から、あなたの“好き”を召し上げ!

芸術を多様な角度から楽しめるぷらっと文化祭「Art Platter」。さまざまな作り手たちと、朗読や美術、音楽、ワークショップ、映画など盛りだくさんの三日間をお贈りします。
 総合企画＝桑原裕子(穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術監督)
 特別協賛＝サーラグループ 協賛＝三遠機材株式会社 物品協賛＝三菱鉛筆株式会社



オープニング式典&演奏会
 9/14 [土] 10:30開演

演奏＝Trio Esters[フルート三重奏]
 井澤莉子、岡田薫子、満吉香苗
 会場＝PLAT交流スクエア
 料金＝無料・申込不要

平田満 映画&トーク 好評発売中
映画「ところの通訳者たち」
上映&トーク
 9/14 [土] 14:00開演

会場＝PLATアートスペース
 料金＝[全席自由・整理番号付]一般1,500円、U25 700円

室井滋トーク&朗読LIVE 好評発売中
「しげちゃんのおはなし会」
 9/16 [月・祝] 15:30開演

会場＝PLAT主ホール
 料金＝[全席指定]一般2,000円、U25 1,000円

蟹江杏・ 受付終了
参加型ライブペインティング
「あんずといっしょに大きな絵を描こう!」
 9/15 [日] ①10:30～11:30
 ②13:00～14:00
 ③15:00～16:00

会場＝PLATアートスペース
 対象＝3歳～小学生(小学2年生以下は保護者同伴)
 定員＝各回30名(先着順)
 参加費＝500円

山田晋平 映像創作ワークショップ
「スマホでつくり、スマホを展示する」
 9/15 [日] 13:30～16:30

講師＝山田晋平
 会場＝PLAT主ホール
 参加費＝1,000円
 対象＝中学生以上、舞台芸術・映像製作に興味のある方で、動画撮影ができるスマートフォンをお持ちの方。
 定員＝15名(先着順)
 申込方法＝劇場ホームページの専用申込フォームより申込み

蟹江杏 作品展
 9/14 [土]～9/16 [月・祝]
 10:00～18:00

会場＝PLAT交流スクエア、研修室(大)など
 料金＝無料

託児サービス対象公演
 要予約。生後6ヶ月以上。
 お一人様500円。お申込み、お問合せは
 プラットチケットセンターまで

マイセレクト4 対象公演
 マイセレクト 2024 4

とまり木の読み聞かせ
 9/14 [土] ①11:30～12:15
 ②17:00～17:45

俳優の平田満・井上加奈子による、こどもからおとなまで楽しめる素話や絵本の読み聞かせの時間です。
 出演＝平田満、井上加奈子
 会場＝PLAT研修室(大)
 料金＝無料・申込不要
 対象＝どなたでも

とまり木の演奏会
 9/14 [土] 18:00～18:40

出演＝Trio Esters[フルート三重奏]
 井澤莉子、岡田薫子、満吉香苗
 会場＝PLAT交流スクエア

「夕暮れの演奏会」
 9/14 [土] 18:00～18:40

出演＝Trio Esters[フルート三重奏]
 井澤莉子、岡田薫子、満吉香苗
 会場＝PLAT交流スクエア



「ランチタイムコンサート」
 9/16 [月・祝]
 12:30～13:10

出演＝成田萌[ヴァイオリン]、神谷英里佳[ハープ]
 会場＝PLATアートスペース



PICKUP

オペラシアターこんにゃく座 オペラ『あん』



10/26 [土] 14:00 開演

ドリアン助川氏による小説「あん」。世界中で翻訳され、映画にもなり、多くのひとびとの心に希望の光を灯してきた小説が原作者本人による台本でオペラになりました。今を生きるすべての人たちに「いのち」の意味を問いかけます。こんにゃく座の新境地、オペラ『あん』をどうぞお見逃しなく!

【あらすじ】

季節は春。どら焼き屋「とら春」の店主・千太郎は鬱屈した日々をすごしている。そこへ、老婦人徳江が働きたいとたずねてくる。一旦は申し出を断る千太郎だったが、徳江の作った「あん」の美味しさに心を動かされ雇うことに。<あん>の評判で店は繁盛する。ところが、徳江が療養所で暮らすハンセン病患者だという噂が流れ…。

会員先行＝8月10日(土)
一般発売＝8月24日(土)
原作・台本＝ドリアン助川(ポプラ社刊「あん」より)
作曲＝寺嶋陸也
演出＝上村錦史
出演＝梅村博美、相原智枝、高野うろお、石窪朋、豊島理恵、金村慎太郎、飯野薫、小林ゆず子、入川舜(ピアノ)、草刈麻紀(クラリネット)
会場＝PLAT主ホール
料金＝[全席指定]S席5,000円、A席3,000円 ほか
※18歳以下のお子様無料で招待対象公演。先着100名、8月24日よりプラットチケットセンター(オンライン・電話)にて取扱い。
【特別協賛】サーラグループ



撮影：前澤秀登

松竹大歌舞伎 11/16 [土]

昼の部 12:00 開演
夜の部 16:30 開演

会員先行＝9月7日(土)
一般発売＝9月21日(土)
演出＝双蝶々曲輪日記『引窓』、『身替座禪』
出演＝中村錦之助、中村隼人ほか
会場＝PLAT主ホール
料金＝[全席指定]
S席昼の部 10,000円、S席夜の部 18,000円、
S席夜の部 9,000円、S席夜の部 16,000円 ほか
【特別協賛】サーラグループ



12:00の回のみ



撮影：細野晋司

マームとジプシー 『equal』

12/7 [土] 14:30 開演
12/8 [日] 14:30 開演



12月7日のみ

藤田貴大が18歳まで過ごした地域のリサーチで得た史実を出発点に、これまでは異なる切り口で、世界が大きく変容していく中で見える「今」の景色を描く。
会員先行＝10月5日(土)
一般発売＝10月19日(土)
作・演出＝藤田貴大
出演＝荻原綾、尾野島慎太郎、成田亜佑美、波佐谷聡、召田実子、吉田聡子
会場＝PLATアートスペース
料金＝[全席指定]一般4,000円 ほか
※18歳以下のお子様無料で招待対象公演。先着40名、10月19日よりプラットチケットセンター(オンライン・電話)にて取扱い。

Makoto Ozone No Name Horses

～20年目の the DAY1～
2025/1/16 [木] 18:30 開演



小曽根真がリーダーをつとめ、日本を代表するトップミュージシャンが集結したビッグバンド。活動開始から20年の節目を迎えるアニバーサリーイヤーのスタートとなる新年。これまでのキャリアを経て、次代への新たな進化を遂げるスペシャルコンサート。
会員先行＝9月28日(土)
一般発売＝10月12日(土)
出演＝小曽根真[ピアノ] ほか
会場＝PLAT主ホール
料金＝[全席指定]S席一般7,000円、A席一般4,500円 ほか
※18歳以下のお子様無料で招待対象公演。先着60名、10月12日よりプラットチケットセンター(オンライン・電話)にて取扱い。

TICKET CENTER

チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

●オンライン
<https://toyohashi-at.jp> [24時間受付・要事前登録]
●劇場電話・窓口
0532-39-3090 [林館日を除く 10:00-19:00]
発売初日はオンライン・電話のみ取り扱い。
翌日以降、残席がある場合は窓口販売あり。

U25・高校生以下割引のご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。
●料金＝U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額 / 高校生以下:1,000円
●購入方法＝各公演の一般発売初日から取扱い。
●その他＝本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。
※一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



プラットフレンズ募集 入会金・年会費無料

●特典
1 公演情報をメールでご案内します。
2 インターネットでチケット予約ができます。
3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。
※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

18歳以下のお子様を 無料で招待

[座席数限定・事前申込制]
文化庁による子供文化芸術活動支援事業(劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)として、以下の公演が採択されました。ぜひこの機会をご活用ください。
9/22-23 『夫婦パラダイス』
10/26 こんにゃく座 オペラ『あん』
12/7-8 マームとジプシー『equal』
2025/1/16
Makoto Ozone No Name Horses ほか
対象＝公演当日に18歳以下小学生以上の方
同伴者申込＝18歳以下の子どもに同伴する保護者等のチケットを対象座席料金の半額でご用意いたします。(先着順・枚数限定)
※公演によって申込方法が異なります。詳細は劇場HPにてご確認ください。



「新たな命の誕生」
 ドリアン助川 原作・台本

こんにゃく座のオペラ『あん』、豊橋公演！ああ、なんと感慨深いことだろう。そして、なんとステキなことなのだろう。

小説『あん』を書くにあたり、また刊行後、私は何度も豊橋を訪れた。飯田線の列車に乗り、ある場所に向かうためだ。小説のなかで、主人公の徳江は自分の故郷についてこう語っている。

「小さい時は愛知にいたのよ。豊橋から飯田線というので…」

「とても桜の綺麗なところだったの」「崖があって、その下を川が流れているの。それで、その崖から川まで桜でいっぱいなのよ。あそこほど、桜の綺麗なところはなかったなあ」

物語のなかで、徳江がハンセン病に罹患したのは戦後間もない頃と設定した。ハンセン病の患者だけではなく、家族や親戚縁者までもが強烈な差別を受けた時代だ。家族に迷惑をかけないようにと、患者は療養所に収容される際、本名を奪われ、新しい名前に変えさせられるのが慣行だった。家族と縁を切られ、戸籍から消された人々もいた。苦難の日々を歩んできた徳江も、本当の故郷がどこであったのかは語らない。ただ桜の美しさだけを、もう一人の主人公である千太郎に話す。

小説でも明らかにはしなかったが、徳江の故郷は新城である。桜淵のあたりと仮定し、豊川の水面に映る満開の桜を描写した。隠された美しい故郷を書くために、私は豊橋に泊まり、新城や設楽を散策した。そして刊行後は、ビデオカメラを携えて豊川の岸辺を歩いた。桜並木と川の流れの映像に、「生きるこの意味」を綴る徳江の最後の手紙をオーバーラップさせ

オペラシアターこんにゃく座

オペラ あん

10月26日[土]14:00開演

原作・台本＝ドリアン助川(ポプラ社刊「あん」より)

作曲＝寺嶋陸也 演出＝上村聡史

出演＝梅村博美、相原智枝、高野うるお、石窪朋、豊島理恵、金村慎太郎、飯野薫、小林ゆず子、入川舜(ピアノ)、草刈麻紀(クラリネット)

会場＝PLAT 主ホール

ドリアン助川[どりあん・すけがわ]

作家、歌手、明治学院大学国際学部教授。1962年東京生まれ。早稲田大学第一文学部哲学科卒。放送作家を経て、1990年バンド「叫ぶ詩人の会」を結成。長野パラリンピック大会歌『旅立ちの時』作詞。小説『あん』は現在24言語に翻訳されている。2017年、同作がフランスの「DOMITYS文学賞」と「読者による文庫本大賞」など4冠を得る。『線量計と奥の細道』が日本エッセイストクラブ賞を受賞。近著に『動物哲学童話』『太陽を掘り起こせ』など。

るためだ。その作品をネットにアップすることで、一人でも多くの読者を得たいと考えた。

どんな物語も平坦な道から生まれるものではないが、小説『あん』にもいくつかの大きな山越えがあった。ハンセン病療養所を訪ね、入所者の皆さんに話を聞けるようになるまで、まず心の準備が必要だった。最大のピンチは、当初予定していた出版社から刊行を断られたときだ。担当編集者のOKが出るまでに執筆開始から三年間を要した。それでも「出さない」という判断になったのであれば、もうこの作品は陽の目を見ることはないだろうと激しく落胆した。あまりに悔しくて、千太郎のように酒びたりになった夜もあった。

そうした難所を越え、決して多くはない部数で刊行されたのが小説『あん』だ。だから、豊橋の街で酒を飲み、翌朝、豊川を撮影するために歩き出す私の胸は希望と不安が入り交じっていた。この物語が誰にも届かないようであれば、小説の神様は私を見放したのだろう。そのときは筆を折ろうとすら思った。

あれから十年。物語は映画化され、カンヌ国際映画祭のオープニングフィルムになった。小説そのものも二十四言語に翻訳され、世界のとどこかで毎日新しい読者が生まれている。女優の中井貴恵さんとの朗読劇『あん』も公演の回数を重ねてきた。千変万化する『あん』とともに、私の歳月はあった。

その私が、観るたびに、聴くたびに、体験するたびに心震え、ハンカチを濡らしてしまうのがこんにゃく座のオペラ『あん』だ。本当に素晴らしい舞台だ。豊橋の皆さん、良かったですね。こんにゃく座のオペラ『あん』をナマ

でご覧になれるのですね。

台本を書いた立場でありながら、毎回頬を濡らすのはどういわけだと自分でも思う。でもこの涙は、かつて出版を断られたときの悔し涙や、患者の証言集を読みながらの悲涙とは違う質のものだ。隔離の囲いを越える自由な心を持つとうとした一人の女性の心。その精一杯の生き方に呼応したこんにゃく座の歌役者たち、演奏者、スタッフ全員が作り上げる舞台芸術の輪のなかで、新たな命の誕生を目撃する感動の涙なのだ。

それは、この舞台にかかわる全員が、病気と差別に翻弄されてきた人々の過酷な人生を一度は背負い、しかし、徳江がそでであったように、そこから立ち上がり、歩きだした瞬間の「微笑み」を舞台に咲かせる瞬間だ。この透明な歓喜こそが、こんにゃく座の面々によって生まれた新たな命の正体であり、私たちはそれを同時体験することで、稀有な幸福感に包まれる。

作曲は寺嶋陸也さん。苦難を耐え忍ぶ人に、人生に蹴躓いた人に、かろうじて立ち上がった人に光を投げかける星々のように、きらめく音楽の力によってこの舞台を支えている。演出は上村聡史さん。私には想像もつかなかった斬新な発想で、観る者に生涯忘れない舞台空間をプレゼントしてくれる。そして、オペラ『あん』実現のために尽力してくださったのが、こんにゃく座代表の萩京子さんだ。この力の結集は、これから先もずっと、観客とともに新たな命を生み出す瞬間を作り上げていくのだと思う。

穂の国とよはし芸術劇場 PLATにて、こんにゃく座のオペラ『あん』を観劇される皆さんに、幸多からんことを！

広告募集

知識製造業
 三遠機材株式会社
 http://www.san-en.co.jp

Gallery 48
 呉服町48 TEL.54-4848

有限会社 魚伊
 電話 52-5256

グロリアンピアノ地域特約店
 白羽楽器 株式会社
 電話 053-464-3015

ケンチワ 701
 KURONO ARCHITECT STUDIO
 y.qlo0170@gmail.com

看板広告 アラキスタジオ
 豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら
 精文館書店
 TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる
 株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科
 医療法人栄真会 伊藤医院
 豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間
 日表 せく宗
 豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。
 豊橋調理製菓専門学校
 豊橋市八町通一丁目22-2 TEL53-2809

豊橋銀行協会 (順不同)
 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行
 三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 三十三銀行
 十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶屋菓子専門店
 若松園
 御菓子司

気まぐれコンサート
 事務局 / 0532-62-9259 (小川)

安心・安全な地下駐車場
 パーク500
 プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
 医療法人 塩之谷整形外科
 理事長 塩之谷 香
 豊橋市植田町関取54 電話0532-25-2115(代)

豊橋名産 舟ちくわ

井上皮フ科クリニック
 診療時間 月・火・木・金 10:00～13:00 16:00～19:00
 土 10:00～14:00 休診日=水・日・祝
 電話0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。
 共和印刷株式会社
 豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
 医療法人 大岩整形外科・皮フ科
 院長 大岩俊夫 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆
 書道用品専門店
 豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得
 株式会社 三光製作所
 三光精密工業株式会社
 豊橋市佐藤一丁目12番地の3

sala
 サラグループ



特別賛助会員のご紹介

私たちは穂の国とよはし芸術劇場の活動を支援しています。

- 株式会社アイセロ
- 旭精機株式会社
- 株式会社イクモ
- 税理士法人イグラ会計
- イノチオホールディングス株式会社
- 株式会社エクステージ
- 大和田和恵
- 株式会社オリエント楽器
- 医療法人佳道会 藤城歯科医院
- 蒲郡信用金庫
- 川西塗装株式会社

- 河原崎 妙
- 株式会社三光製作所
- 三光精密工業株式会社
- サーラエナジー株式会社
- 株式会社サーラコーポレーション
- 三遠機材株式会社
- 株式会社東雲座カンパニー
- 株式会社シュガーサウンド
- 大三紙業株式会社
- 戸田淳子

- トヨタネ株式会社
- トヨネン株式会社
- 株式会社豊橋印刷社
- 豊橋芸術文化事業サポート株式会社
- 豊橋ケーブルネットワーク株式会社
- 豊橋信用金庫
- 豊橋倉庫株式会社
- 豊橋鉄道株式会社
- 早川直宏

- 株式会社平松食品
- 藤城建設株式会社
- 学校法人藤ノ花学園
- 株式会社豊川堂
- 松井商事株式会社
- 村田小児歯科センター
- 物語コーポレーション
- 有楽製菓株式会社 豊橋夢工場
- 若松園

匿名会員1名 (五十音順)

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
 電話＝0532-39-8810[代表](9:00～20:00)
 開館＝9:00～22:00 休館日＝第三月曜・年末・年始。
 第三月曜が祝日の場合はその翌平日。
 豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、
 新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
 ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、
 お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT